

2006 年度

科目名 乳児保育Ⅱ	対象学科・学年 文学部教福3回生 教育教福3回生	担当者 森 宇多子
授業テーマ 乳児保育「Ⅰ」の内容をさらに追求する。		
授業の概要と目標 乳児保育を学ぶ上で、多様化の対応として保護者の生活問題を視野に入れた低年齢児に求められる保育サービスや、地域の一般家庭を対象とした子育て支援を充実させていく保育者としての専門性を養っていきたい。		
評価方法 講義時間内に随時、簡単な小レポートを求める（30％） 出席重視（30％） 課題レポート（40％） 総合評価する。		
テキスト 科学の目と優しい心 乳児保育	著者 川原 佐公	出版社 健帛社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 遊びの意義 2. 遊びの実際 3. 子育て支援 4. 在宅子育て家庭の支援 5. 子どもの生活環境 6. 遊びたくなる環境 7. 愛着の持てる遊具、玩具 8. あこがれのモデルとしての保育者 9. 計画の種類 10. 計画の立て方 11. 保育の記録と評価 12. 社会の変遷と乳児保育の動向 13. 保育士の専門性 14. 今後の課題 15. まとめ		